

施策評価シート

【施策の概要】

		登録者(課長)名【1】	協働コミュニティ課長 浜名 幹男	
		主管課(関係課)【2】	協働コミュニティ課	
施策名【3】		分野【4】	まちづくりの方向性【5】	
創1-3 男女平等参画社会の推進		一人ひとりが輝くために	創造性の育つまちづくり	
概要	施策全体の課題【6】		施策実現へむけたキーワード【7】	施策の目標【8】
	より充実した男女平等参画社会を実現するためには、関係機関と連携して行うことが必要です。 平成20年度に住吉会館ルピナスに移転した男女平等推進センターパリティを拠点に、ドメスティック・バイオレンス(DV)などの女性をとりまく暴力の問題を含めた女性相談の専門化・高度化を図るとともに、情報提供の充実や交流の機会の促進、市民活動などへの支援などを図る必要があります。		・男女平等推進センターパリティを中心とした活動の展開 ・女性相談体制の充実	女性も男性もお互いに認めあい、対等なパートナーとして協力しあうことができる社会をめざします。
	留意すべき点(都などの制度の変化・その他制約条件・社会環境の変化)【9】			
◇国において「第3次男女共同参画基本計画」の策定が進められています。平成22年4月に中間報告が出され、6月には男性が休業を取りやすくなるように、育児休業法と介護休業法が法改正されました。				
事業群	事業群名【10】		事業群の施策上の位置づけ【11】	
	1	男女平等参画への取組を進めます	男女平等参画推進に向けた意識づくり、情報発信、環境整備などの取組	
	2	男女平等推進センター機能の充実を図ります	相談・情報発信の拠点としての男女平等参画センター機能の充実	

【施策の成果】

			年度	19	20	21	22	23	24	
成果指標【12】	指標1	名称	まつり(フォーラム)への参加人数	目標値	1,000人			単位	人	
		算出式・説明	市で取り組むさまざまな男女平等参画に関する事業を推進することで、男女平等参画社会への興味関心が高まります。	実績値	491	500	800			
		達成率		49%	50%	80%	0%			
	指標2	名称	男女平等推進センターパリティ登録団体数	目標値	10団体			単位	団体	
		算出式・説明	男女平等参画社会の推進には、市民活動団体との協働が必要であり、男女平等推進センターパリティを中心とした活動を展開していくことで、センターへの登録団体数の確保を図ります。	実績値	-	4	10			
		達成率		0%	40%	100%	0%			
	指標3	名称		目標値				単位		
		算出式・説明		実績値						
		達成率								
	指標4	名称		目標値				単位		
		算出式・説明		実績値						
		達成率								
達成率の平均値				25%	45%	90%	0%			

【市民意見】【13】

平成19年度		平成22年度	
満足度(%)	14.7%	満足度(%)	17%
満足度(平均ポイント)	-0.04	満足度(平均ポイント)	0.01
重要度(%)	55.5%	重要度(%)	56.2%
重要度(平均ポイント)	0.6	重要度(平均ポイント)	0.62

各年次の市民意識調査で、施策ごとの「満足、やや満足」「重要、やや重要」の合計値として算出しています。

【一次評価】

検証項目	施策の成果と課題	施策成果の目標達成状況【14】	<input checked="" type="checkbox"/> まだ未達成 <input type="checkbox"/> ほぼ達成 <input type="checkbox"/> 目標を大きく上回る	
		意識調査での満足度【15】	<input type="checkbox"/> 平均を下回る <input type="checkbox"/> ほぼ平均 <input checked="" type="checkbox"/> 平均を上回る	
施策の成果と課題(取組成果や目標達成に向けた課題、成果向上・コスト削減策等)【16】		◇男女平等参画の取組については、平成22年度以降の取組を計画的に推進するため、平成21年度に市の「第2次男女平等参画推進計画」を策定し、施策の実施と検証を進めています。多岐にわたる施策の計画的な実施が今後の課題となっています。 ◇女性相談やDV被害者への支援等においては、関係各課や関係機関との連携が不可欠であるため、連携体制を確立しています。 ◇男女平等推進センター「パリティ」については、登録団体数が順調に増加しており、市民団体との協働によるパリティ祭の開催や機関紙の発行等も軌道に乗ってきています。今後は、パリティの活動への参加や女性相談の利用について、さらに周知に努める必要があります。		
検証項目	今後の方針	施策の重要性の変化【17】	<input type="checkbox"/> 弱くなっている <input checked="" type="checkbox"/> 以前と同程度 <input type="checkbox"/> 強くなっている	
		意識調査での重要度【18】	<input checked="" type="checkbox"/> 平均を下回る <input type="checkbox"/> ほぼ平均 <input type="checkbox"/> 平均を上回る	
今後の方針(具体的な事業群や事務事業を示しながら)【19】		◇「第2次男女平等参画推進計画」の推進については、重点施策を絞る等の工夫をして計画的に進めていきます。 ◇女性相談やDV被害者への支援については、体制の充実を図るとともに、相談員に対する研修や関係各課・関係機関との連携を強化していきます。 ◇パリティの事業については、市民団体との協働による「パリティ祭り」の開催や機関紙の発行等において、市民認知度を上げていきます。		
総合評価	施策内容の方向性【20】	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 絞込み		
	施策実施コストの方向性【21】	<input type="checkbox"/> 重点化 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 効率化		
	施策実施方針【22】	V	コスト、成果ともに現状を維持すべき施策領域	
【一次評価後の事情変更等】				
説明【23】		なし		
【行革本部評価】				
総合評価	施策内容の方向性【20】	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 絞込み		
	施策実施コストの方向性【21】	<input type="checkbox"/> 重点化 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input checked="" type="checkbox"/> 効率化		
	判断理由等【24】	男女平等参画社会の推進については、平成20年度には活動拠点としての男女平等推進センター「パリティ」を開設し、男女平等参画推進計画に基づく取組を推進しているところですが、市民意識調査における満足度が相対的に高いこと、施策成果も順調に得られていることから、今後は、上記推進計画の推進に当たっても、優先順位付けを行って重点的な取組を絞込むなど、コストの効率化を図るべきものと判断しました。		
施策実施方針【22】	VI	コストを抑制しながら成果を維持すべき施策領域		

【施策内の事務事業貢献度判定】

創1-3 男女平等参画社会の推進

事業群	名称【25】	担当課【26】	概要【27】
	男女平等参画に関する意識啓発	協働コミュニティ課	男女平等参画に関する意識啓発を行う目的で、男女平等推進センターパリティを拠点に、男女平等推進センター企画運営委員会の設置・運営や情報提供の充実、講座の開催、学習や交流機会等を提供しています。
2	相談・支援機能の充実	協働コミュニティ課	女性に対する暴力などから人権を守るため、相談体制の充実や関係機関との連携を図っています。相談員の研修の充実、相談窓口をもつ関係各課や保健所などの関係者による連絡会など連携に努めています。
事業の合計			

総コスト(千円) : 評価年度【28】	事務事業の評価(直近)【29】		26市のサービス水準との比較【30】	施策における位置づけ【31】	貢献度【32】	
	事業費	人件費				
9,113	1,033	8,080	継続実施(平成17年度)	中	男女平等参画推進計画に基づき、男女平等参画への取組を進めていきます。	B
14,071	5,991	8,080	抜本的見直し(平成19年度)	中	より多くの人が考えるきっかけをつくりだせるよう意識啓発を行い、男女平等参画への取組を進めます。	B
34,622	17,166	17,456	改善・見直し(平成18年度)	上	女性相談体制の充実を図り、男女平等社会の実現を目指します。	B
57,806	24,190	33,616				